



全ダ連だより

第26号
2024.3

All Nippon Association of Dance



Contents

会長挨拶.....	2
委員会からの活動報告（ダンス教授所及びジュニア育成教室認定委員会）.....	3
委員会からの活動報告（資格認定委員会）.....	4～5
委員会からの活動報告（ダンス普及事業委員会）.....	6
委員会からの活動報告（ANAD アマチュア指導員資格認定委員会）.....	7
委員会からの活動報告（ウェルフェアダンス指導員認定委員会）.....	8～9
会員からの活動報告.....	10～11
会員主催の公益事業.....	12～14
賛助会員（個人）指定研修会報告.....	15
2024年度（令和6年）ダンス教師試験日程.....	16

発行日 令和6年3月29日
発行者 公益社団法人全日本ダンス協会連合会
所在地 〒105-0004
東京都港区新橋 1-18-13 杉村ビル 9F
TEL 03-3506-8866 FAX 03-3506-8854
E-mail : anad@zendaren.or.jp
URL : <https://www.zendaren.or.jp/>
営業時間 (平日) 10:00～18:00
定休日 土・日・祝他



公益社団法人全日本ダンス協会連合会
会長
小川 純

1月元旦の能登半島地震。昨年は新型コロナも5類感染症に位置付けられ、ようやく社会が通常に機能し始め、今年も引き続き全ダ連の活性化のために、各地域会、教師協会、構成員の皆さまの活動に期待を寄せる矢先に、まるで前途を妨げる警告が発せられたかのように、人々の日常を根こそぎ引っこ抜いて、暴れる地殻変動。多くの人々を巻き込んだ大惨事に胸が痛みます。被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

—私案ざっくり備忘録より— 昭和60年、国家公安委員会認定のダンス教師資格証所持者を統括する、まさに日本に唯一無二の団体として「社団法人 全日本ダンス協会連合会」は発足しております。やがて平成に入り、ダンス界の一部に21世紀のダンス文化の構築を唱えて、更なる高みを目指す機運が高まりはしたが、遂には大同団結を得ることなく、全ダ連はうねる大海に船出を余儀なくされました。現代日本社交ダンス界の苦難の道のりの始まりでした。

この様な状況下に平成20年「民による公益の増進」を趣旨とする「公益法人制度改革3法」が施行されました。全ダ連はプロジェクトを組み、公益認定を受けることを最課題として取り組みました。従来の社団法人や財団法人とは異なり、新しい制度において公益法人として活動するためには、公益事業を行う主たる目的とした法人であること、必要な経理的基礎及び技術的能力を有することなど18にも及ぶ厳しい条件を満たす必要がありましたが、めでたく平成23年内閣総理大臣から公益法人の移行認定を受け、現在に至っています。

特筆すべきは、全ダ連が認定基準をクリアした事由は「ダンスが西欧の宮廷文化に始まるその歴史の中で、技術や作法が洗練され、それらが連綿と現代まで受け継がれている高い達成度を持つ文化であり、且つ、様式美や礼儀を重んじる芸術であって、全ダ連の活動が、そのようなダンスの振興を図り、我が国における芸術と文化の振興を目的として行われている」とあります。

皆さまの取得されている全ダ連の認定証からはそのような深みと、ステータスを感じ取っていただければと思います。

元来社交ダンスは、遊興の活力あるなかで、大衆が踊り、楽しみ、知らず知らずのうちに本来の様式美や礼儀、その佇まい、趣、品格などの人間の心性を高められることこそ、ダンス文化を普及推進する私達の思いといえましょう。長い歴史の中で、その社交ダンスを上質な文化へと導き、品位向上に注力してきた、全ダ連の存在意義をご理解いただきたい。

さらに、全ダ連が充実した活動を展開していくためにも、不可欠な条件として「全ダ連ダンスフェスティバル」を位置付けております。しかしながら多様化したダンス界の状況下では、一般ダンス愛好者においては、全ダ連の認知度が十分ではなく、大変反省させられました。これを謙虚に受け止め、広く社会に受け容れられるように努めなければならないと痛感しております。

会員一丸となって「全ダ連ダンスフェスティバル」へご参加の認識を深めていただくことが、全ダ連のステージをさらなる高みへと押し上げることと確信しております。



公益社団法人全日本ダンス協会連合会
副会長
ダンス教授所及びジュニア育成教室認定委員会委員長
奥野 友子

2024年の幕開けは、能登の震災に日本中が震撼し改めて健康や安全が第一だと感じさせられています。そして、一日を大切に生きることが有難く、当たり前でないことを痛感している今日この頃です。この度の震災により被害を受けられた皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

さて、ダンス教授所につきましては現在 216 件が登録していただいております。2年毎に優良認定ステッカーを作成し、ダンス教室の入り口に貼ってもらうよう色を変えて配布しています。

ジュニア普及指導員は 37 名がそれぞれの地域で活動していただいております。コロナ渦の影響で活動が停滞していたのが事実ですが、ようやく新規の生徒さんや学校訪問の問い合わせがあったり等、活気づいてきました。

今、ジュニア育成指導委員会のメンバー 6 人で DVD 制作に取り組んでいて、近々ジュニア普及指導員の方々にお届けできると存じます。特徴は、子供だけでなく社交ダンスが初めての方にも社交ダンスの楽しさを丸ごと味わっていただけるよう全種目を取り上げております。もちろん、ヴェニーズ・ワルツも個人でも集団でも年齢関係なく踊れるように工夫しました。DVD には解説書を添付していますので、きっとお役に立てることと思います。

現在、当委員会は近畿地域会を中心に活動していますが、今後の活動の活性化のため、全国のジュニア普及指導員の方々にご協力をいただきたいと考えています。例えば、同じ地域会や教師協会など、ジュニア普及指導員を中心に、関心のある全ダ連会員数名でグループを作り、テーマを持ち、2年単位で成果を発表していく…など、少しずつでも、このような活動が出来れば更なる活性化が期待できると考えています。

全国のジュニア普及指導員、また当委員会の活動に関心のある会員の皆様、ご意見をお待ちしています。



委員会メンバーで各種目のステップを考案中



認定講習、昇級試験について

公益社団法人全日本ダンス協会連合会
副会長
資格認定委員会委員長
村松 昌弘

公益社団法人 全日本ダンス協会連合会（全ダ連）が、社交ダンスの団体の中でも古くから伝統のある教師資格を発行する機関であることは承知の事実であると思います。

各教師協会は全ダ連に入会するとき、定款の10項目ある目的に賛同して入会し、会員を試験に受験させることで構成員を増やしてきました。

試験の制度については全ダ連の定款の第4条、連合会の目的の第1項に明記されています。

ダンスのプロフェッショナルである以上、自分のスキルを上げるためとレッスンプロとして教えるためにも基本のメカニズムを勉強することはとても大事な事だと思えます。

しかし、この10年ほど受験生の減少が顕著になってきました。

その結果、102ある教師協会の60%弱の教師協会が一人も受験生がいないという事が残念でなりません。

2019年から昨年までの5年間の再試験を除いた受験生の数の、全国で最も多かった順に第5位までが以下の教師協会です。

順位	教師協会	会長	受験数
第1位	北海道ダンス教師協会	日向秀一	11人
〃	広島県ダンススポーツ教師協会	田原弘子	11人
第3位	静岡県社交ダンス教師協会	深澤充子	9人
第4位	大阪府舞踏教師協会（ODTA）	下山 正	8人
第5位	京都ロイヤルダンス教師協会	松岡徹二	6人

新規入会者のアソシエイトがいなかったとしても、昇級試験という制度があり、メンバー、ライセンシエート、フェローと受験していただいて、さらなる知識について試験を通して勉強することはプロフェッショナルにとって大事な事だと思えます。

コロナに翻弄された時期であるにも関わらず、受験生を育成して受験させている上記の教師協会と会長の努力には頭が下がる思いです。

上記の教師協会が全ダ連を支えている事に、全ダ連の理事として厚くお礼申し上げます。

願わくば60%弱の何年も受験生の無い教師協会が、一人でも多く昇級試験も含めて試験の参加をしてくれることを願っております。



試験における重要事項

資格認定委員会

2024年1月25日に行われた資格認定委員会と試験問題作成委員会において、以下の事が全員一致で承認されました。

今までのソロデモンストレーションはスタンダードに於いて、男性、女性共に両手を挙げている形でおこなってきましたが、今後は、**男性は男性、女性は女性のホールド**ですべての種目を行うことが決定されました。

各地域会は認定講習、昇級試験の時に講習員が受験生に指示をするように伝達をお願いします。

尚、ラテンに於いてはすでに今まで通り男性、女性のポイズで行っていますので、引き続きよろしくをお願いします。

ラテンのカップルダンスについてもすべての種目で、クローズホールドから始める事を再度徹底するようにお願いします。

2023年度 ダンス教師認定講習・昇級試験報告 ～ 資格認定委員会 ～

2023年度は、前期6月8日、後期11月9日に各地域でダンス教師認定講習、昇級試験を実施しました。

2023年度では、10名の新しい先生（アソシエイト）が誕生しました。

青山 篤子	井原 美香	片岡 美穂	澁谷 政雄	寺澤 秀吉
西山さくら	本間 弘子	前川 紘輝	三浦エレナ	宮崎千賀子

昇級試験ではメンバー7名 ライセンシエイト9名 フェロー8名合格！！



公益社団法人全日本ダンス協会連合会
副会長
ダンス普及事業委員会委員長
玉置 朝啓

今、日本は全世界で第3位のダンス人口とのことですが、表面的にはアマ同士、プロ同士のコンペ人口を中心に考えられているように思います。

その中で子供だけでなく大人達の健康のため、楽しみのための社交ダンスというものを、日本国内では全ダ連が第1位に集めるために、プロの集合体とその他のダンス人口が必要になるのではと考えます。

全ダ連はプロの集合体ですので、主催のイベントとして、世界的に広がりを見せているプロアマミックス等を充実させていきたい、また個人戦だけでなくチームマッチのようにグループでも楽しめる方法も探り、プロとしての知識と見識を持って新しいものに対処していく必要が有ると思います。

昨年、オリンピック加盟団体CSIT（コミュニティスポーツインターナショナルトラベル）という名称のIOCに承認を受けた団体主催の、第1回CSITワールドダンスフェスティバル2023(沖縄)に審査員として参加して参りましたが、スポーツ庁をはじめ各企業のスポンサーを受け、盛大にイベントとして成功されておりました。

全ダ連もこれから色々な方面との繋がりを密にしてダンス人口を集めること、その中にプロとしての意識、地位をよりしっかり持っていかなければならないと思う所存であります。

公益社団法人 全日本ダンス協会連合会認定の
アマチュア・ダンス指導員資格！

☆ANAD アマチュア指導員☆

受験者募集中！



ANADアマチュア指導員資格認定委員会委員長
長尾 勝則

ANAD アマチュア指導員資格認定委員会では、前年度に引き続き身近な教師協会からアマチュア指導員の受験生の募集活動を行って参りました。

活動について理解はしていただけるものの、説明会より先に進まず、なかなか結果が出せていないのも現状でございます。

全ダ連において、会員であるプロ教師の増員は重要課題ではありますが、ANAD アマチュア指導員の拡大を図り、有資格者を増やしていくことは準会員、延いては会員の増員にも繋がるものと確信しております。

また、ANAD アマチュア指導員の拡大は教師協会の準会員として経済的確保と組織強化に欠かせない側面を持っています。

指導員資格者には指導員試験の補助員や、ダンスフェアのお手伝い等、あらゆる教師協会の行事にご協力をいただき、協会及び教室とも深い絆で結ばれているように思います。

さて、今回の ANAD アマチュア指導員試験を令和5年9月10日に開催。
会場は滋賀県彦根市のタミダンススタジオにて、滋賀県ダンス教師協会（全ダ連副会長 奥野友子先生）と合同で行いました。

京都ダンススポーツ教師協会は新規1名（5級）、昇級試験1名（4級）の2名、滋賀県ダンス教師協会は新規8名（5級）の受験者で、新たに10名の合格者を獲得することが出来ました。
生徒の信用、信頼をより確かなものにする努力が指導員拡大へと繋がります。
今回も教師協会合同での活動メリットを実感する良い機会となりました。

今年度は全ダ連本部のご配慮もいただき、5月頃に京都ダンススポーツ教師協会が行う予定です。
もちろん、他府県の教師協会からの受験者を含め、募集をしているところでございます。

今後も委員会としましては、協会一丸となって取り組んで参る所存です。
是非ともお力添えをよろしくお願い申し上げます。

委員会からの活動報告 ～ウェルフェアダンス指導員認定委員会～



ウェルフェアダンス指導員認定委員会委員長
後藤 敏一

当委員会では、かねてより公益事業を実施・推進し、かつ普及活動を展開していくために、社会福祉活動各分野の指導者の育成・拡大に取り組んでまいりました。

しかしながら、ここ数年はコロナ禍の影響で本部講習が延期され、活動自粛で制限を受ける中で、公益活動に備えるためのあらゆる検討を重ね、限定的な講習を継続しております。

今年度におきましては、3年余りのコロナ禍を乗り越えた「新しい日常」のもと、地域における施設訪問などの公益活動も休止から「実施」へと変化がみられ、各指導員が中心となり、可能な限りでのダンスを通じた社会貢献の実現へと地域での活動に努めました。

地域の活動報告例としては、次の通りです。

まず、長野県支部では定期的な施設訪問活動のほか、文化祭などへの参加で障がいのある方との車いすダンスなどを発表しました。その活動は地元のケーブルテレビで放送され、大きな反響となり、普及活動としても意義あるものとなりました。



神奈川支部の7回目を迎える福祉ダンスイベント「輪（WA）～っと！ふれあいダンス交流会」は3年ぶりの開催となりましたが、60名ほどの参加者と、社交ダンスや車いすダンス、手話ダンスを楽しみ、充実した交流の時間とともに広報活動を行いました。

香川県支部では地元の高松を中心に、定期的な各施設訪問で障がいのある方と車いすダンスを通してのリハビリ、心身の健康にと、充実した活動を実施いたしました。

また熊本県ほか、それぞれの地域においても講習会や定期的な活動を継続し、公益事業を拡大しています。

当委員会では、今後もウェルフェアダンス指導員事業として、各地で指導員講習を開催し、連携を図り、継続的な活動を行っていきます。

「ウェルフェアダンス」は全ダ連が商標登録を取得している、車いすダンス・ブラインドダンス・手話ダンスを三つの柱としている「福祉ダンス」の総称です。

そのため施設訪問などの公益活動では、安全にダンスを楽しんで頂くためのあらゆる知識を習得した指導員が必要とされ、資格認定のあり方等についても所要の検討を行ってきました。

障がいや何らかの病気などのハンディのある方々や、高齢者と接する際の全般的な注意事項やマナー、車いすに関する知識や操作に加え、手話などについても学び、認定された指導員はそれぞれが研鑽を重ねて活動に努めております。

今後もより一層、地域における普及活動に取り組み、広く展開していく所存でおります。

ウェルフェアダンス指導員認定委員会では共に福祉活動各分野の指導者として活動していただける仲間を募集しております。興味をお持ちの方は、指導員講習へご参加下さい。

全ダ連ホームページ活用のご案内

広報・出版・IT委員会

全ダ連のホームページでは、全ダ連についてはもちろん、関連した様々な情報を掲載しております。各種申請書類もパソコンからプリントアウトしていただけますので、是非ご活用下さい。

- ◆ ダンス教師資格 登録更新申請書、変更届出書
- ◆ ダンス教師資格 受験申請書ほか、必要書類
- ◆ 認定ダンス教室 変更届
- ◆ 教材注文書 ※ 2023.10.1 に改訂されました



速やかな情報発信のため、メールマガジンを実施しております。
全ダ連ホームページの登録ページ、または右上のQRコードにて、是非ご登録ください。

ダンスうんどう塾・本部 塾長
小林 英夫

菅原一樹選手 10 ダンス部門 優勝！日本人としてチャンピオンを掴んだ！

2023年11月5日 菅原一樹選手はオーストリア・シェラドミングで開催された「CSIT ワールド・チャンピオンシップ」10 ダンス部門で優勝しチャンピオンとなった。

11月4日までの決勝には、10 ダンス選手は駒を進めていないので、翌日5日の試合は今なら「優勝」は可能であると予測していた。

表彰台には、初めて「日の丸」が光り輝き、一番高い表彰台で大きな声で「君が代」を歌う姿はとて誇らしく見えた。子どもの頃からの、とてつもない大きな夢を実現した瞬間だった。

菅原選手は7年前に単身イタリアに移住し、ラウラ・コラビッツァとパートナーを組んで、「世界に通じるダンス」を目指して連日連夜トレーニングと試合にと励んできた。

これまで開催された試合では、9月にイタリア・チェルビアで行われた「CSIT ワールドスポーツゲーム 2023」でスタンダード4位、ラテン6位で決勝入りした。

今や野球界のメジャーリーグの大谷翔平選手に続いて「ダンス界の二刀流」と言えるかもしれない。もし10 ダンスで優勝したら「三刀流」と言えるであろう。

なんといっても、2023年に開催された「イタリア・オープン：チャンピオンシップ」(IOC)において2022年優勝に続いて、2度目の10 ダンスチャンピオンに輝いた実績を成し遂げているのである。

また、2023年4月9日に九州別府アリーナ（日本）で行われた「2023年ダンススポーツグランプリ in 大分」では「2024年 WDSF ラテン世界選手権代表選考会」が併催され、日本のチャンピオンとイタリアチャンピオン菅原組の対決が話題となっていたが、菅原組に勝利の女神が微笑んでくれた。

音楽を知っている日本人が、初のイタリアチャンピオンになった！

菅原選手は、群馬県高崎市出身、両親がJDSFのファイナリストで幼少の頃からダンス環境にあった。11歳の時、小樽に住民票を移して「ダンスうんどう塾」の門下生となり、小樽市量徳小学校に通いながら日夜ダンス学習に取り組んだ。

国際ダンス交流をしている私に同行し、小学生でありながらロシアをはじめ、中国や米国のダンス技術の学習と数々の競技会出場をしてきた。

海外における菅原選手への評価は、音楽を良く聴ける耳を持っているということである。

日本のダンス学習は、ほとんどが足型やフォーム、スタイルが入り口となっているが、「ダンスうんどう塾」プログラムでは、まずは西欧の音楽を聴き、それを身体表現するのがダンスであるので「拍と拍子」を身体で知り、数々のテンポを知り、それから音楽の三要素の「リズム、メロディー、ハーモニー」を知ってから、踊りへと進んでいく。

子どもの時から音楽を身体で聴けるくらい学んだのは菅原選手が断トツであった。西欧音楽を聴けることが「海外で通用するダンス」のゆえんでもある。

今後三刀流でイタリアチャンピオン三連覇は基より5連覇、8連覇を成し遂げることを私は願っている。

最後に、西欧文化に通じる人財育成は、足型からでなく音楽の入り口から入り、「聴き方・身体での表現の仕方」を学び、「楽しい～面白い！はずむ、はじける」などの完成を育む事が、これからの若い人たちを取り込む手法として、我々ダンス関係者が求められていると考える。



10 ダンス表彰式



第1回「CSIT ワールドダンスフェスティバル」
(沖縄)



九州グランプリ表彰式 (JDSF)
優勝・菅原 & ラウラ組



菅原 & ラウラ組、田原先生ご夫妻、小林先生

小林 英夫 [プロフィール]

当連合会会員。ダンス普及拡大のため、教育、研究、実践に取り組む。

ロシア・ナホトカ市から名誉市民権、貢献勲章を授与されるなど、日本全国及びアメリカやロシア、ドイツ、中国などでも国際ダンス交流活動を展開中。

会員主催の公益事業

■東北地域会（（一社）青森県社交ダンス教師協会）

訪問日：2023年12月9日（土） 会場：アラスカ会館

訪問者：千葉 康一、加賀田 礼子

参加者：80名 社会福祉法人アルバ

内 容：入居者（知的障害者）は踊ることが好きなのですが、社交ダンスをテレビで見るだけで体験する機会がないのが現状です。

社交ダンスの楽しさを伝えるため、講習とデモンストレーションを行いました。



■中部地域会（スターラインダンス教師協会）

訪問日：2023年6月4日（日） 会場：東郷旭丘幼稚園

訪問者：武澤 秀一、武澤 幸子

参加者：約300名 園児（年少・年中・年長）、各保護者、職員

内 容：幼稚園内での実施のため、簡単なダンスの講習をして、園児とその保護者と一緒に楽しんでもらい、最後に講師が正装に着替えてデモンストレーションを行い終了。

■中部地域会（スターラインダンス教師協会）

訪問日：2023年6月11日（日） 会場：日進旭丘幼稚園

訪問者：武澤 秀一、武澤 幸子

参加者：約300名 園児（年少・年中・年長）、各保護者、職員

内 容：幼稚園内での実施のため、簡単なダンスの講習をして、園児とその保護者と一緒に楽しんでもらい、最後に講師が正装に着替えてデモンストレーションを行い終了。

■中部地域会（スターラインダンス教師協会）

訪問日：2023年10月28日（木） 会場：学校法人 尾関学園 美里幼稚園

訪問者：武澤 秀一、武澤 幸子

参加者：約200名 園児（年少・年中・年長）、各保護者、職員

内 容：幼稚園の各幼児クラスに実施するため、手拍子などを使用して簡単なダンスの講習を実施。園児とその保護者と一緒にペアになりダンスを楽しんでもらい、最後に講師が正装に着替えてデモンストレーションを行い終了。

■中部地域会（福井県ボールルームダンス教師協会）

訪問日：2023年12月22日（金） 会場：ゆうあいデイサービスセンター

訪問者：小埜、岡田、真柄、本多、他8名

参加者：38名（施設利用者24名、職員14名）

内 容：利用者である岡田先生の体験談やカラオケ、デモンストレーションを披露した。

■近畿地域会（滋賀県ダンス教師協会）

訪問日：2024年1月9日（火） 会場：JA 東びわこデイサービスセンター

訪問者：三谷 恵一

参加者：28名（施設利用者24名、職員4名）

内 容：今回は初めての訪問なので心配しましたが、24名の内6名は立ってマンボの曲に合わせて体を動かしていただきました。

座っての方は手や足を動かし、笑顔になっていただけました。

今年100歳の方にも一緒に楽しい時間を過ごせたと言っていました。



■ ウェルフェアダンス指導員認定委員会（長野県支部）

訪問日：2023年7月8日（土） 会場：坂城町隣保館

訪問者：後藤 敏一、後藤 正一、堀内 貴志子、他6名

参加者：90名 一般来場者、障がい者、福祉従事者

内 容：令和5年度隣保館ふれあい交流フェスティバルに参加し、ウェルフェアダンス体験講習とウェルフェアダンスとソーシャルダンスのデモンストレーションを行う。

■ ウェルフェアダンス指導員認定委員会（長野県支部）

訪問日：2023年8月19日（土） 会場：ことぶきアリーナ

訪問者：後藤 敏一、他5名

参加者：120名 障がい者、福祉従事者

内 容：NPO法人 あした葉～重症心身障がい児者と共に生きる会主催の2023はれるや縁日地域交流イベントに参加。

ソーシャルダンスとウェルフェアダンスのデモンストレーションを行う。

福祉従事者やボランティアに車椅子に乗ってもらい、ウェルフェアダンス体験講習を実施。重症障がい児の皆さんが自身の車椅子のまま、音楽に合わせて手を動かしたり、車椅子をリズムカルに動かすお手伝いをした。

■ ウェルフェアダンス指導員認定委員会（長野県支部）

訪問日：2023年9月3日（日） 会場：坂城勤労者総合福祉センター

訪問者：後藤 敏一、他8名

参加者：80名 一般来場者、障がい者、福祉従事者

内 容：第22回センター祭に参加し、ウェルフェアダンス体験講習とウェルフェアダンスとソーシャルダンスのデモンストレーションを行う。

■ ウェルフェアダンス指導員認定委員会（長野県支部）

訪問日：2023年10月22日（日） 会場：坂城町南条小学校

訪問者：後藤 敏一、後藤 正一、他7名

参加者：80名 一般来場者、障がい者、福祉従事者

内 容：第51回坂城町文化祭に参加し、車いすダンス体験や講習、車いすダンスとソーシャルダンスのデモンストレーションを行う。

賛助会員(個人)指定研修会報告

豊洲文化センターにて賛助会員(個人)の指定研修会を開催し、多くの会員に参加いただきました。他教師協会の方もご参加いただけますのでご希望の方はお問合せください。(有料)

◆ 2023年8月29日開催



山本英美先生によるラテン講習。

ラテンを踊るにあたり重要なウォークや身体の使い方をご指導いただきました。



◆ 2024年2月15日開催



石原正三先生、渋谷透子先生によるスタンダード講習。

スタンダードにおける「7つの基本」についてご指導いただきました。

講習の始めには石原組によるワルツを披露いただき、会場は優雅なダンスに魅了されました。

2024年度(令和6年) ダンス教師試験日程

試験のご案内(2024)

ダンス教師認定講習・昇級試験

前期 2024年 6月13日(木)

後期 2024年11月14日(木)

- ※ 集合講習は、考査日のおおむね45日前に実施します。
- ※ 集合講習及び考査の詳細は各地域会または本部にお問合せください。
- ※ 受験申請書類は、全ダ連ホームページからダウンロードできます。
郵便でお取り寄せの場合は、1部1,000円+税で販売いたします。

ダンス教師資格証明書の有効期限をご確認ください。

ダンス教師資格証明書(免許書サイズ・写真付き)は、5年毎に有効期限がまいります。
有効期限をご確認いただき、期限内に更新手続きをしましょう。
更新申請書は、全ダ連ホームページ(申請書等ダウンロードページ)からダウンロードできます。
更新手続きは、有効期限の3ヶ月前より受け付けています。

速やかな情報発信のため、メールマガジンを実施しております。
全ダ連ホームページの登録ページまたは右のQRコードにて、是非ご登録ください。

